

# ねっとわーく

1月号

No. 158

## 特色ある公民館活動



しいたけ駒打ち体験〈福岡市〉



家族で参加する陶芸講座〈水巻町〉



生活支援体制整備事業ワークショップ〈朝倉市〉



フレイルチェック〈上毛町〉

### 市町村のページ【特集：特色ある公民館活動】

- ・親子で楽しく学ぶ公民館親子塾
- ・家族みんなで、ツクル
- ・老若男女地域一体で取り組む 地域おこし
- ・生涯学習講座「健康づくり講座」

### こちら県公連

- ・令和5年度福岡県公民館実践交流会報告

- 福岡市飯原公民館 ……P1
- 水巻町中央公民館 ……P2
- 朝倉市蜷城コミュニティセンター ……P3
- 上毛町中央公民館 ……P4

……P5



## 親子で楽しく学ぶ公民館親子塾

～つながる地域をめざして～

福岡市飯原公民館

### 【地域の概要及び経緯】

飯原校区は、早良区の中央部に位置し校区の中心を油山川が流れています。平成29年3月に飯原通り開通を機に、若い世代が増えてきました。飯原公民館は、屋上に小学校のプールを併設していて、子どもたちにとって親しみのある公民館です。春には、小学生の入学・進学を祝い、およそ150匹の鯉のぼりが油山川の上空を泳いでいます。地域団体による草刈り、ゴミ拾いなど環境美化活動も盛んで、水辺はいこいの場所となっています。



【写真1：油山川観察会の様子】

### 【活動内容】

飯原公民館では親子とつながる地域をめざして、親子で学ぶ講座、親子塾（家庭教育学級）を実施しています。例年、7月の「油山川観察会」では川の役割、川遊びの注意を学習して魚とりを体験しています。9月の「里山森林体験」では、曲淵水源地そばにある竹山で山の学習をして、竹にパン生地を巻き付けて焼く竹パンづくりや、水鉄砲をつくって遊びます。



【写真2：里山森林体験の様子】

令和4年度は3月に「しいたけ駒打ち体験」を自治協議会、環境推進委員会のオーナー制度と共催で行いました。親子塾参加者12組、オーナー38名総勢70名は、NPO法人「里まちサイクルコミュニティ」の実技指導のもと、50本のクヌギの原木に、シイタケ駒打ちを行いました。駒打ちした原木は、公民館の北側の日陰に置いて菌糸の成長を見守っています。参加者は時々様子をみながら、これからのシイタケの収穫を楽しみに交流しています。



【写真3：しいたけ駒打ち体験の様子】

### 【成果と課題】

地域と家族と一緒に自然に学び、自然のなかで遊ぶ子どもたちの笑顔に環境を守る気持ちが育つように願うとともに、校区の高齢化が進む中で、校区の人が支援したり参加したりする、季節に応じた交流の場となるような講座や事業に取り組んでいきたいと思ひます。

【問合せ先】 飯原公民館〒814-0022 福岡市早良区原7-3-21  
TEL 092-864-4545 FAX 092-864-6493

【地域の概要及び経緯】

水巻町は人口約 28,000 人。中央公民館は多くの団体が利用する文化交流の拠点となっています。今回紹介する事業は、その中央公民館が所有する陶芸室での事業です。

【活動内容】

昨年度開催した際多くの応募があったため、今年度も、「家族みんなでツクル」をテーマに家族で参加する陶芸講座を実施しました。この講座のポイントは次の3つで、家庭教育の意義を深める内容となっています。

1つは、「家族で体験する」ことです。子どもだけではなく、大人も一緒にものづくりに取り組むことで、子どもが何を学びどう感じたのか、家で話を聞くだけではなく、一緒に体験することができます。話しながら楽しく陶芸をすることで、もっとやってみたい、という子どもの意欲を引き出すことができました。また、家族単位の講座とすることで感染症へのリスクを軽減することができました。

2つは、「参加しやすい開講日」です。講座開講日を週末の休日とすることで、若い世代の参加が大幅に増えました。親子3世代で受講した家族からは、良い思い出作りができたことと喜びのお手紙が届きました。

3つは、「学びながら作る」ことです。作品を完成させるために家族でしっかりと講師の話を聞き、親子で教えあうことで安心して受講することができました。陶芸経験が全くない子どもたちも、和気あいあいとした雰囲気の中、最後まで作品を作り上げることができました。

コロナ禍明けの令和4年度に初めて実施した際も募集定員を超える応募があり、ニーズの高さから令和5年度も開催しました。反省点としてあがっていた抽選倍率の高さについては、午前と午後の二部制としたものの、すべてを受け入れることはできなかったことが今後の課題点です。

【成果と課題】

生涯学習という言葉のとおり、子どもから大人まで広く学びを伝えることができました。陶芸経験が全くない人も、低学年のお子さんも、みんなが楽しく作品を完成させることができました。

これをきっかけに今後も若い世代の人々に町の公民館講座に参加してもらい、施設利用の促進や、社会教育の振興に努めていきたいと思っております。



【写真1：親子で参加する様子】



【写真2：完成した作品の様子】

【問合せ先】 水巻町中央公民館

〒807-0022 福岡県遠賀郡水巻町頃末北 1-1-2

TEL 093-201-4321 FAX 093-201-4110

### 【地域の概要及び経緯】

蜷城地区（以下、地区と表記）は、朝倉市の南部にあります。「筑後川」「佐田川」「桂川」の3河川に囲まれた、なべ底のような低地にあり、地域全域が浸水地域です。

地区は、平成29年7月の九州北部豪雨で400戸以上の浸水被害が発生しました。さらに、その後6年間で5回の浸水被害を受けて人口が激減しており、2045年には、地区の人口は約半減し、780人程度となる見通しです。このため、住民の生活支援体制の整備及びコミュニティの維持を図ることが喫緊の課題となっています。

### 【活動内容】

朝倉市子ども未来課、社会福祉協議会と連携して「生活支援体制整備事業ワークショップ」を開催し、地区の課題とその解決のための実行案を出し合いました（写真1）。

課題は総じて人口減を要因としたものが多く、①超高齢社会と超少子社会の到来②各種団体、組織の担い手不足③地区内公共交通機関不足④災害時の救助・救護・支援に対する不安が出ました。その他多かったのは、⑤地区には「魅力」がないので転出者が多いということでした。

具体的な実践としては、コミュニティセンターの空き部屋を利用した「蜷城カフェ」、地元特産物販売等の「冬のマルシェ in 蜷城」、「歴史巡りウォーキング」、「ファミリーウォーキング」、子ども向けの出し物を工夫した「夏祭り」や「文化祭」を行いました。

「地区には『魅力』がない」という課題については、昭和28年の西日本大水害以降70年間続いている蜷城小学校のJRC（青少年赤十字）活動の価値について話し合う中で、子ども、親、祖父母の多世代にわたるJRC精神こそが地区の宝であり「魅力」なのではないかと再発見することができました。

蜷城小のJRC精神を取り入れたコミュニティ活動として、高齢者へ配食する千歳弁当に蜷城小児童の手紙やメッセージの添付、敬老会の方へお祝いの手紙渡し、一人暮らしの高齢者への年賀状書き、年3回の環境整備事業での地域の花壇の花植え（写真2）などを行っています。



【写真1 ワークショップの様子】



【写真2 蜷城小児童とともに花植え】

### 【成果と課題】

- 地域住民の語らいの場「蜷城カフェ」を開設したことで、コミュニティ活動への参加者の増加、多世代地域親睦ができるようになった。
- 地域の魅力としてJRCの精神の継承が再確認され、コミュニティセンター事業及び小学校の授業における子どもと地域との関わりが深まった。
- 地域住民が地区のさらなる「魅力」を再発見したり、自覚したりできるような活動の場づくりを行う。

【問合せ先】 蜷城コミュニティセンター  
〒838-0037 福岡県朝倉市林田242  
TEL 0946-22-3004 FAX 0946-22-3004

## 生涯学習講座「健康づくり講座」

上毛町中央公民館

### 【地域の概要及び経緯】

上毛町は、平成 17 年 10 月に新吉富村と大平村の 2 村の合併によって誕生しました。福岡県の最東端、大分県との県境に位置する自然豊かで農業が盛んな町です。棚田やホテル等、豊かな自然に恵まれるほか、東九州自動車道の全線開通、上毛スマートインターチェンジの開設に伴う周辺施設の整備等、住環境の良さも有しています。

町では上毛町中央公民館主催で、地域の生涯学習サポーターを講師にお招きする「特別講座（私が講師!）」や、社会生活を営む上で理解、体得しておくことが望まれる現代的課題の学習機会を提供する「現代的課題講座」等の講座を開催しています。

### 【活動内容】

フレイル予防（運動・栄養・社会参加、認知症・介護予防）や生活習慣病予防等が現代的課題となっています。本町の現代的課題講座の 1 つ「健康づくり講座」では関係課やフレイルサポーター、外部講師の方々と連携し、フレイル予防や医療、介護等総合的に健康づくりに関することを学んでいただく機会を提供しています。健康的な生活を過ごすことで将来の医療費・介護費の抑制にもつなげていくねらいがあります。

令和 5 年度は次の内容を実施しました。

① フレイルってなに? 「心身の状況を楽しくチェック」 【講師】上毛町長寿福祉課、包括支援センター、フレイルサポーター 【内容】片足立ち上がりテストや筋力測定、噛む力チェック等を行いました。
② 栄養管理「元気に長生きするための栄養のお話」 【講師】上毛町子ども未来課 【内容】高齢期に気を付けたい食生活のポイント等についての講義をしました。
③ ノルディックウォーク教室 【講師】ノルディックウォーク公認指導員（鍼灸・柔道整復師） 【内容】ボールの持ち方や歩き方を学び、「ゆっくり」「しっかり」のグループに分かれて大池公園の周辺をウォーキングしました。
④ 笑いヨガ体操 【講師】総合型地域スポーツクラブよろうや 代表 【内容】「無理に笑おうとしない」「出来なくても笑ってごまかす」をポイントに笑いヨガ体操をしました。



【フレイルチェックの様子】



【ノルディックウォークの様子】

### 【成果と課題】

事業後のアンケート結果では「楽しかった、良い体験になった」「講座を受けて健康に対する関心が湧いた」「また是非やってほしい」等と好評をいただき、受講者は自分の健康について見直す機会になりました。

新型コロナウイルス感染症の影響があり、参加者が少ないという課題がありますが、継続的に実施していくことで参加者の増加につなげていきたいと考えています。

【問合せ先】 上毛町中央公民館（上毛町教育委員会 教務課 社会教育係）  
〒871-0992 上毛町大字垂水1321-1  
TEL：0979-72-3165 FAX：0979-84-8021

# 令和5年度 福岡県公民館実践交流会 ～ 報 告 ～

## ▶はじめに

令和6年1月25日（木）、宗像ユリックス（宗像市）にて令和5年度福岡県公民館実践交流会を開催しました。当日は、県内各地から683名の公民館関係者に御参加いただきました。開会行事の後は、「家庭教育」「青少年育成」「ボランティア活動」など8分野、8事例の実践発表を4会場に分かれて実施しました。どの会場でも、活発な意見交換や情報交換が行われました。

## ▶交流会を通して

参加者は、各地域の取組をはじめ、地域の課題に対する取組や地域防災活動、人材育成に対する取組などの有意義な情報が得られたようでした。また、参加者からのアンケートでは「大変参考になった」「参考になった」という肯定的な評価を多くいただきました。感想の中には、「ぜひ、視察に行ってみたい。」「他の地域の素晴らしい活動に感動しました。」など、参加者にとって、今後の取組を実施していく上でのヒントを得ることができたのではないかと思います。特に、発表後の質問が多く、参加者が地域での活動に対しての思いを強く感じることができました。



【第1会場（イベントホール）】



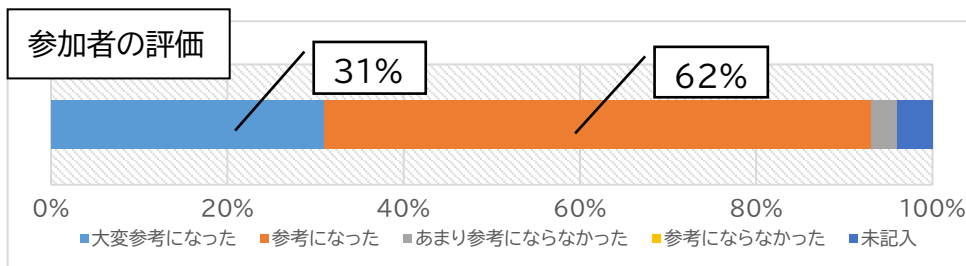
【第2会場（ハーモニーホール）】



【第3会場（展示室）】



【第4会場（会議室1・2）】



## ▶おわりに

貴重な実践を提供していただいた公民館等関係者の皆様の地域をさらによりよくしたいという思いやそれを実現させようとしている様々な工夫、熱心な取組など参加者が共感することができた大変有意義な実践交流会となりました。

一方、参加者が集中したため会場に入りきれず、聞きたい発表が聞けない分科会がでるなど、運営上の課題も見られました。今回の反省をもとに、更に充実した交流会となるよう改善を図って参りたいと思います。

次年度は令和7年1月24日（金）宗像ユリックスにて予定しております。

どうぞよろしく願いいたします